

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大分県
取組市町村名 取組団体・企業名	豊後大野市 市民生活課
取組の名称	①食育キャンペーン『あけあじ減る塩大作戦』 ②食育標語の募集
実施時期	①6月29日(土) ②6月中(締切7月5日)
取組内容	<p>①他課が企画した「男女共同参画市民のつどい」の講演会にて、受付付近のフロアーを借りて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減塩みそ汁の試飲(感想をボードにシール添付)</li> <li>・減塩レシピ、うま塩メニュー提供店マップ、野菜の種の配布</li> <li>・豊後大野市の健康課題と現状をパネルにて展示</li> <li>・一日分の野菜(模型)展示</li> </ul> <p>参加者 豊後大野市民 約200名(減塩みそ汁試飲 78名) スタッフ 食生活改善推進協議会役員2名 食育作業部会(職員)1名 食育担当職員3名</p>  <p>②市内の小学校(11校)中学校(7校)高校(1校)の児童・生徒へ食育標語の募集(学校の授業や宿題などで対応)1690作品の応募あり *9月の選考会の後、11月の「ふるさとまつり」にて表彰を予定(最優秀賞のみ)ケーブルテレビでの放映予定</p>

【様式1】

① 食育月間の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>大分県</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>豊後高田市立香々地中学校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>・ノー残食ウィーク（6月17日～21日）の取組 ・食育の日の放送 ・食育授業「生活リズムと栄養」1年17名対象</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和 元年 6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>《ノー残食ウィーク》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の期間を定め、各学年で協力して給食残食ゼロを目指します。校内放送や朝の会で呼びかけ、保体部の生徒が残食量をチェックし、グラフに掲示しました。いつもの日より残さないようにという意識が高まり、どのクラスも残食が少なかったです。（全校対象）</li> </ul> <p>《食育の日の放送》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月行っている食育の日の放送の内容を増やし、食材等の紹介も詳しく行いました。</li> </ul>   <p>廊下に各クラスの取組み状況を掲示しました。</p> <p>《食に関する授業》6月21日（金）5限1年生実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭の先生をお招きし、1年生対象に『朝ごはんは集中力アップを目指すには』という授業を実施しました。なぜ、朝ごはんが大切なのか、バランスが取れていないとなぜ悪いのか、どのような食品を組み合わせればバランスがよくなるのかなど詳しく学習することができました。</li> <li>・生徒の感想からは、「集中力をアップさせるためには、バランスのとれた朝ごはんが大切なことが分かった。」「バランスをとるためにたんぱく質やビタミンをとりたい」などの感想が聞かれました。</li> <li>・栄養学的な少し詳しい知識を教えていただき偏っているとどうして悪いのかを学習することができました</li> </ul>  

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	大分県
取組市町村名 取組団体・企業名	別府大学食物栄養科学部, 明豊高校
取組の名称	食育授業の実施
実施時期	6月26日(水)
取組内容	<p>食育月間である6月に、自己の食生活に対して興味を持たせ、今後実施していく家庭科の食生活分野の授業に対して主体的・積極的な態度で臨む姿勢を育む契機とすることを目的とし、高校2年生100名を対象に「食育授業」を行いました。</p> <p>講師として、別府大学食物栄養科学部 食物栄養学科 学科長 平川史子教授をお招きして、思春期の栄養について、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)思春期の適正体重食事・運動の重要性</li> <li>(2)食生活セルフチェックの実施を通して自己の食生活の見直し</li> <li>(3)今後の自身の食生活に対する展望</li> </ol> <p>という順番で、参加型の講義を行っていただきました。</p> <p>今回の食育授業を通して、「思春期の栄養の様々な課題を学ぶことで、改めて自分の食べているものの栄養バランスの悪さが、将来の自分の健康に影響を与えることを知り、怖くなりました。」や、「私は朝起きるのが遅く、朝食を抜くことが多かったので、思春期の食生活の大切さを学び、心身の健康のためにも、生活改善をしていかなければならないなと感じました。」など、現時点での自身の食生活と将来の自身の健康について結びつけて考えることができている様子が多くみられました。</p>
	 